

記者発表資料

災害対策用機械の実演演習

～自治体への災害支援に関する災害用機械の実演演習～

直轄河川及び国道の災害対応時における習熟と災害対策車両等の派遣における自治体との連携を目的として「災害対策用機械の実演演習」を下記のとおり実施します。

記

1. 開催日時：平成22年12月2日(木) 16:00～17:00
(小雨決行)
2. 場 所：笛吹市石和町市部地先(鵜飼橋下流側の笛吹川河川敷)
3. 操作実演：排水ポンプ車、照明車、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)など
4. 参加予定者：笛吹川沿川の自治体(首長、災害担当自治体職員、水防団など)

災害発生時には初期段階における対応が重要であり、広域、大規模災害時には、地方公共団体と国等の連携が不可欠です。

国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所では、照明車、排水ポンプ車、衛星通信車、対策本部車、Ku-SAT(衛星小型電送装置)等の災害対策用機械を保有し、災害時に迅速な対応が行えるよう体制を確保するとともに、自治体の要請に応じ災害対策車両の派遣を行っています。

◆今後、このような訓練を踏まえ、自治体の災害復旧を迅速に行えるよう支援するとともに、同様の訓練を他の地域においても実施していく予定です。

※ 記者の方へ 取材は可能です。

取材をされる場合は、甲府河川国道事務所調査第一課までご連絡ください。

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川県建設記者会、山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

副所長(河川) 堀口 智(ほりぐち あきら) TEL: 055-252-5493(直通)

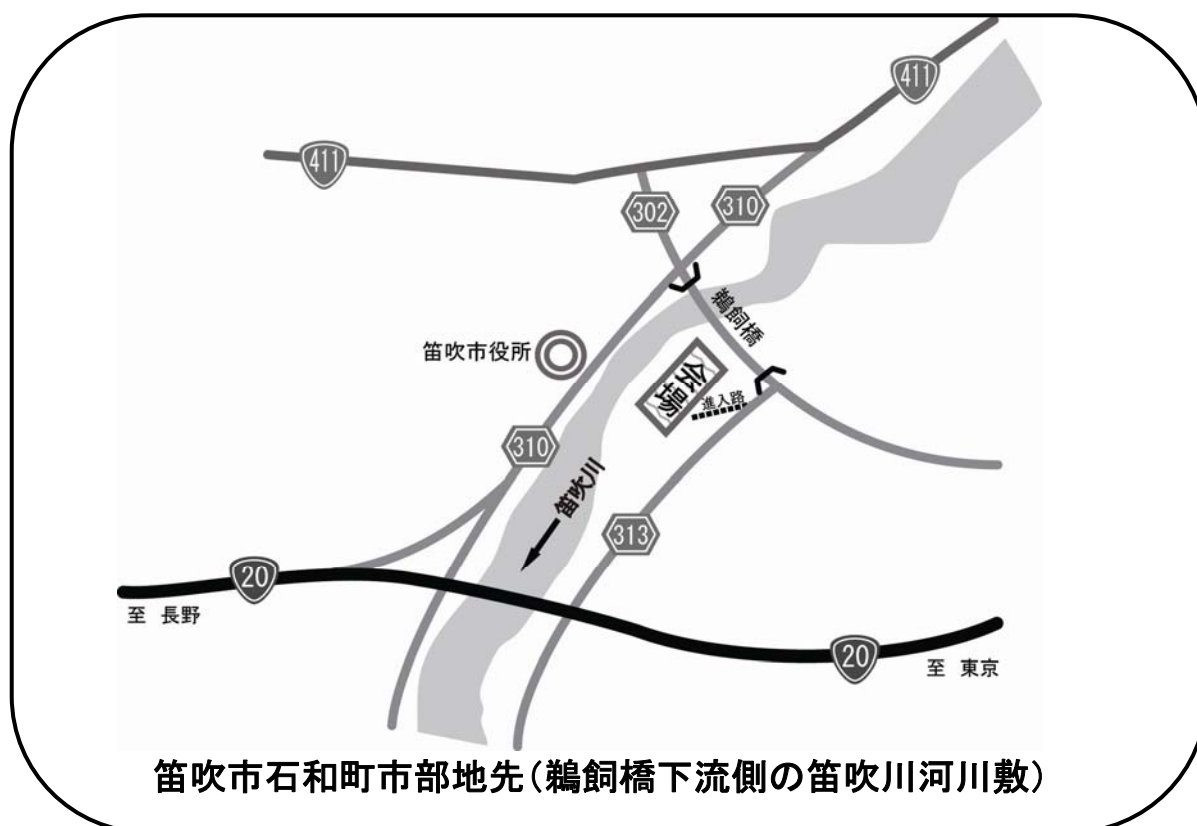
調査第一課長 塚本 一三(つかもと いちぞう) TEL: 055-252-8884(直通)

災害対策用機械の実演演習

次 第

1. あいさつ
2. 山梨の地形と災害について
3. 機械操作訓練
 - ・ 排水ポンプ車
 - ・ 照明車（点灯 16：30 頃）
 - ・ Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）
 - ・ その他災害車両等
4. 質疑応答

災害対策機械の実演演習 会場案内図



災害対策用機械

甲府河川国道事務所において配備

照明車 (2台)

- 夜間作業現場及び避難所を照明
- 発電機を装備し、電源供給も可

設置条件

- 進入路は幅3.0m程度必要
- 幅5.0m × 長さ9.0mの水平エリアが必要
- 使用燃料は軽油
- 全高3.3m × 全長6.6m × 全幅2.1m

衛星通信車(1台)

- 災害現場における通信手段の確保や情報を収集
- 山間部等の通信困難地域でも対応が可能

設置条件

- 進入路は幅3.0m程度必要
- 幅4.0m × 長さ8.0mの水平エリアが必要
- 使用燃料は軽油
- 全高3.6m × 全長6.2m × 全幅2.3m

対策本部車(1台)

- 対策本部として情報収集、復旧作業の指揮、対策検討、他機関との連絡の拠点
- 衛星携帯電話、FAXを装備

設置条件

- 進入路は幅3.5m程度必要
- 幅7.5m × 長さ12.0mの水平エリアが必要
- 使用燃料は軽油
- 全高3.8m × 全長10.1m × 全幅5.4m

待機支援車(1台)

- 収納式ベッド、厨房、トイレ等を装備
- 休憩、仮眠、宿泊施設として機能

設置条件

- 進入路は幅3.5m程度必要
- 幅3.5m × 長さ9.0mの水平エリアが必要
- 使用燃料は車両:軽油、発電機:ガソリン
- 全高3.8m × 全長10.1m × 全幅5.4m

排水ポンプ車(4台)

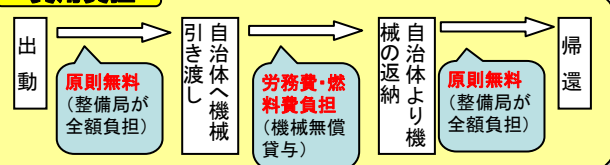
- 市街地にたまった水を河川へ排水

設置条件

ポンプ規模	台数	必要幅	作業エリア	設置に必要な時間と人数
13m ³ /min	1台	3.5m(2.3m)	4.5 × 20m	約60 × 4人
30m ³ /min	2台	3.5m(2.3m)	4.5 × 20m	約90 × 6人
60m ³ /min	1台	3.5m(2.5m)	5.5 ~ 7.5 × 35m	約60 × 6人

ポンプ規模	照明	クレーン要否	ポンプ重量
13m ³ /min	有り(3.6kw)	要(別途クレーン)	100kg/台
30m ³ /min	無し	無(人力設置)	30kg/台
60m ³ /min	無し	要(別途クレーン)	620kg/台

費用負担



関東技術事務所(千葉県松戸市)において配備

応急組立橋

- 道路崩壊や落橋時に仮橋として使用

仕様

- 支間は16~40mまで4mごと
- 幅員は車道6.5m、歩道1.5m × 2

橋梁点検車

- 橋梁の下部や側部を点検

仕様

- 点検範囲は横断:15.0m、垂直下17.4m
- 壁面乗り越え高さ5.0m
- 高所点検は最大16.3m

流出油回収車

- 流出油の回収

仕様

- 浮上油回収装置
- 濾過装置
- 発電機

バックホウ(遠隔操作)

- リモコンによる遠隔作業
- 無人による作業で二次災害を防止

仕様

- バケット容量0.7m³

その他、他事務所において、

- 巡視船
- 作業船
- 水面清掃船 等を保有